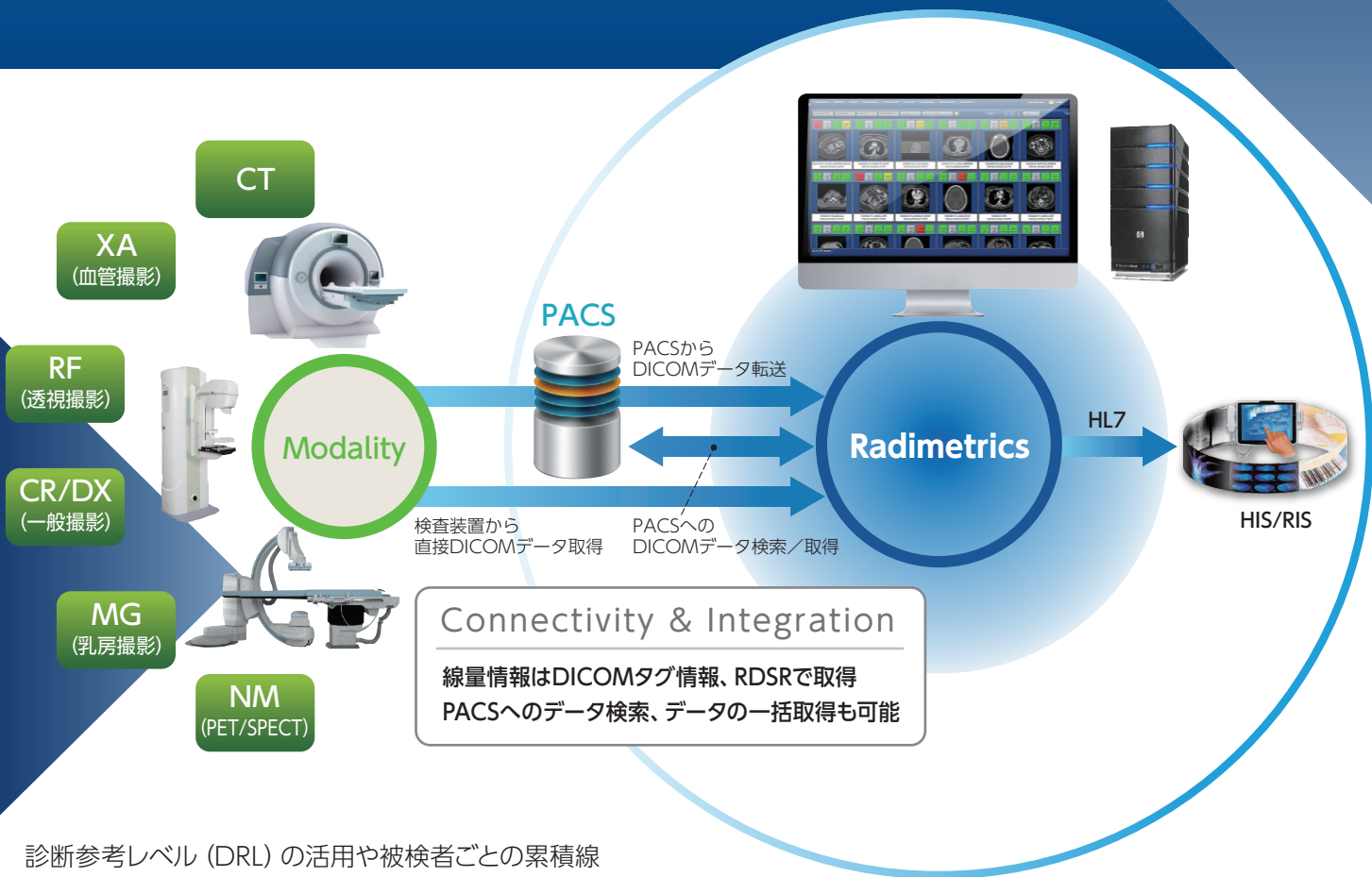


医療放射線情報一元管理システム

マルチモダリティへの対応と柔軟なデータ活用により、線量情報の管理が効率的に行えます。



診断参考レベル (DRL) の活用や被検者ごとの累積線量管理、線量データの収集・分析により、線量情報を可視化。医療放射線情報管理を導入する施設の診療業務の効率化と線量の最適化をサポートします。

撮影装置ごとに各種線量指標に対応
DRL運用に必要な線量指標を選択可能

被検者ごとに蓄積線量を表示



累積線量等の情報を、線量レベルに応じた色と共に確認できます。

被検者を選択すると、患者スコアカードで詳細が確認できます。撮影計画、被ばくの適正化に活用することができます。

| | 検査装置 | CT | XA (血管撮影) | RF (透視撮影) | CR/DX (一般撮影) | MG (乳房撮影) | NM (PET/SPECT) |
|------|---------------------|----|-----------|-----------|--------------|-----------|----------------|
| 線量指標 | CTDI _{vol} | ● | | | | | |
| | DLP | ● | | | | | |
| | SSDE | ● | | | | | |
| | 実効線量 (ICRP103) | ● | | | | | |
| | 面積線量 | | ● | ● | ● | ● | |
| | 透視時間 | | ● | ● | | | |
| | 基準点線量 | | ● | ● | | | |
| | 入射表面線量 | | ● | | | ● | |
| | EI (Exposure Index) | | | | ● | | |
| | 平均乳腺線量 | | | | | ● | |
| | 実投与量 | | | | | | ● |
| | 実効線量 (ICRP128) | | | | | | ● |

* 検査装置によって取得できる線量情報は異なります

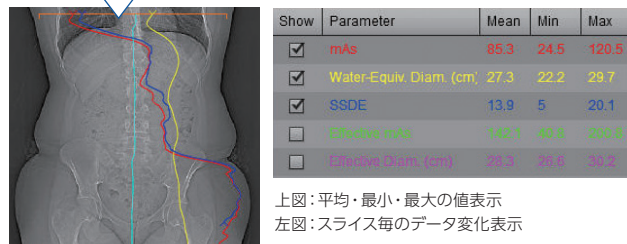
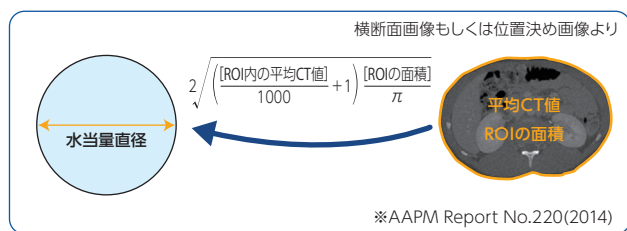
ネットワーク型マルチモダリティ対応線量管理システム

Radimetrics

Enterprise Platform

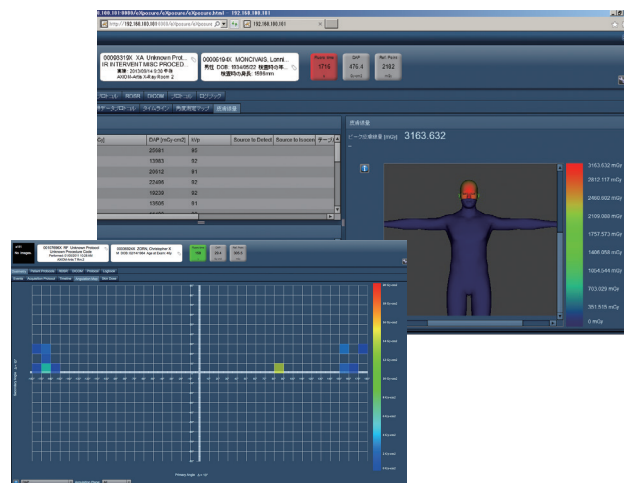
被検者ごとのX線線量データを

算出する SSDE (Size-Specific Dose Estimates)



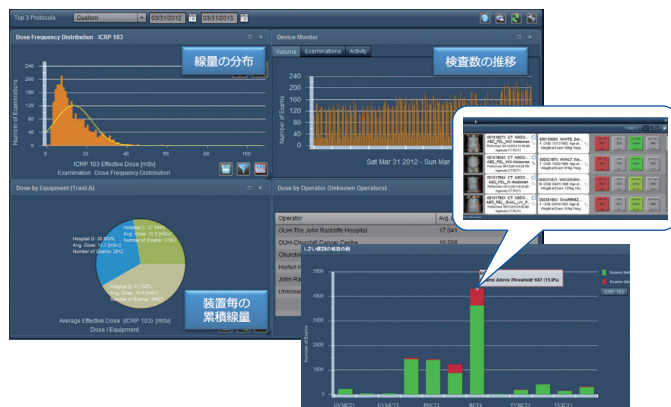
CTDIvolやDLPは必ずしも患者体形を考慮した値ではなく、体部評価では32cmファントムから算出した値を用いますが、SSDEではアキシャル画像等から算出された水当量直径に応じた係数で値が算出されるため、体形補正を行った線量指標として使用できます。

表示する 入射皮膚線量マップ・XA角度マップ表示機能



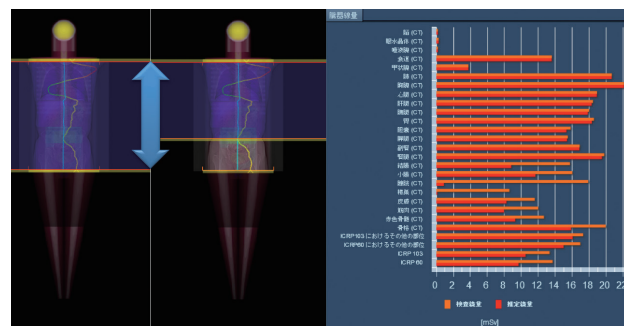
血管撮影装置から送信される線量情報データRDSR (Radiation Dose Structured Report) を使用して、アーム角度ごとの線量が表示できるカラーマップや、入射皮膚線量マップの表示が可能です。視覚的な線量把握が行え、確定的影響へのリスク管理に役立ちます。

分析する 最新の情報を表示するダッシュボード機能



蓄積されたデータはソフトウェア内で統計処理され、解析・分析が行えます。また様々な形式でデータを抽出することもできます。条件を登録することで容易に最新の情報にアクセスでき、データ解析の時間を大幅に短縮することが可能です。

活用する CT撮影条件の線量シミュレーション機能



実際の撮影データから年齢・性別・被検者体形(体重や直径)を判断し、適したファントムを自動選択。撮影範囲や撮影条件を変更した場合の臓器別線量のシミュレーションが行えます。また、妊娠初期・中期・後期の妊婦ファントムも選択できます。CTシミュレーション機能は、撮影プロトコルの最適化や、CT検査に携わる方への教育にも貢献します。



バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com